

# わんぱく組 保育参観会 アンケート 結果

ヒッポ保育園

先日はお忙しい中、アンケートにご協力頂きありがとうございました。

皆様のアンケート結果をお知らせ致します。様々な保護者様のアンケート結果をもとに、これからの子育ての方針や課題に対して、参考になる事も多くあるかと思えます。

## ◆アンケート集計◆

### ①集団の中で、友達との関りが出来ていましたか？

- ・これかな？と友達と考えて線路を繋げている姿が見えました
- ・今は何をやる時なのか、はわかるようになってきているのかな？と感じました。違うことをしている子に教えてあげる場面もあった気がしました。
- ・親が見ていると気付いていなかった時は、お友達とおままごとで遊んだり、お片付けを一緒にやったりしていたところ。
- ・歌の途中でペアなって手を取り合いダンスをしている時。
- ・おままごとやレールをお友達と一緒に仲良く出来ていたと思います。
- ・木製レールの時、お友達と一緒につなげていたと思います。「出来ない」と言ってお友達が助けてくれていました。
- ・集団生活の中での関り方となるのか分かりませんが、「一人だけ外れている」ということも、無いように見受けられました。一緒に何かをする、とか話し合っ(相談して)やる、という姿は無かったかなあという印象です。自分の考えで、思いついたところをやっていたように思います。(レールの時)

### ②友達と仲良く遊べていましたか？

- ・一人の子だけではなく、少人数の所に行ったり、中心になれてお話しているだろう姿が見えました。
- ・一緒に遊ぶというより、みんな個々に遊んでいるようだった。
- ・仲良く、かはわかりませんが…ケンカはせず、過ごせていたと思います。
- ・親に気が付いていない時は、お友達の輪の中に入っておままごとをしていたり、お片付けを皆と一緒にやっていたところ。
- ・歌を歌っている時のペアのダンスもお互いにすぐに相手を見つけてダンスをしていたところ。
- ・線路の取り合いになっても、ケンカまでいかず(先生も間に入ってくれたので)、すんなり解決していたところ。
- ・おままごと、木製レールの時、一緒に遊べていたと思います。
- ・お友達が使っている物を取ってしまう、とか、自分が使いたいから、やりたいからと言って、自分の所に確保しておく、というような事も無いように見えました。病院(キッズルーム)や子ども施設等では、自分が使っている物、使いたい物を「自分」優先にしている事が多いので、園でのお友達との遊び方は、また違うのかなと思いました。

### ③協調性のある関わり方が出来ていましたか？

・線路を作る時、ブロックで競争をする時、持っていた物を取られても怒らず、譲る姿や人の物を取らないようにあちこちを見て、はまるものを見つける、周りと自分の必要な物を見ながら探している姿に、自我を家を出していた時と違うのを見れました。

・おやつをもらう時など、順番に並んで、喧嘩することなく出来ていました。

・周りと同じことをすることは出来るようになっていた気がしますが、協調性はまだまだもう少しかな？と感じました。

・親に気付かなければ、友達と一緒に何かをすることをしていたと思いますが、普段と違い誰かに見られているという事で、お友達が何かをしても本人は親達に話しかけたりしていて。また、線路を皆で作るという時も飽きてしまったこともあるのか、一人で違うことをしだしてしまい。協調性のあるように見えたような少し不安なこともあります。

・レールをつなぐ時は先生のアドバイスを聞きながら、お友達と協力して出来ていたと思います。

・ブロックをつなげて競争する時、お友達と取り合いやケンカする事もなくやっていたり、木製レールの時、出来ない事は出来ないと言って助けてもらいながら協力して作っていたと思います。

・あれを協調性と言えるのかわかりませんが…「自分だけ」という事は見受けられなかったですし、ふざけているお友達を見て、ふざけてしまう、というのもありました。「遊んでいない」というお友達？の言葉にまた戻って始めたのもあったりしたかな、と。(レールの時)「レールを作る」という目標に向かってお友達と先生とやれていたようにも思いますが…。

### ④保育士や友達の言葉に耳を傾けていましたか？

・先生の言葉を聞く時はちゃんと目を見て聞いていました。静かにして、ちょこちょこ動いていることが少なかったです。

・プラレールの線路を作っている時、先生のアドバイスに耳を傾けているように感じました。お友達と相談しながら楽しく出来たらいいなと思います。

・耳は傾げるけど、すぐ飽きてしまう感じがしました。もう少し集中力が付くと良いなと思います。

・ブロックを長く繋げる活動の時、スタート地点とは別の所で組み立て始めていた為、周りのお友達や先生のお話をきちんと見たり、聞いたりしていなかったのかなと。ただ、線路を取り合っている時は本人は「これを使いたい」、お友達は「いらない」と言葉で自分の気持ちを伝えており、ケンカに至らなかったところ。

・園長先生の言葉をよく聞いて、椅子を運んだり、きちんと座ったりできていた。

・園長先生の指示には従って行動できていたと思います。

・先生がお話している時は、きちんと先生の方を見ていました。何かをやっている時も、先生が「〇〇」と言うことに反応して動いていたと思います。でも、お菓子をもらい時(お茶かな)は、こちらを見てしまって、先生の声が耳に入るまでに時間がかかったようでした。お友達の言葉は…聞いているようないないような。園長先生の隣にいつも座ったり、先生へのアピール？、隣で聞きたい、というのは、強いのかなぁと思いました。

⑤保育参観を通して、これからの子育てについて考える事はありますか？ご記入下さい。

・友達と仲良く遊べるようになって欲しいです。自分の世界に入りやすく、自分の作ったおもちゃを壊されても怒らない優しさがあっても黙るのではなく、話をして一緒に使えるようになって欲しいです。

・一人で遊ぶことが多そうな話を聞くので、一緒に使う事や「貸して」の発言の次をどうすればいいのか考えて行動できる子になれたらいいなと思いました。

・片付け方も、ただ「お片付けしよう」と声掛けするのではなく、具体的に「キレイに」、「整頓して」と伝える事でその言葉にしっかり反応して片付けることが出来ていたので、分かりやすい言葉でどうなってほしいのか、こちらの意思、願い、気持ちを明確に伝えていきたいです。

・保育園ではやっているのに、家ではやらないこと(片付け)などを保育園でするときのように音楽を付けてみたり、本人がやらなきゃと思うようにしていきたいです。

・子ども達の行う事、1から1つずつ伝えながらではなく、伝えたらどのようにやっていくか見守っていくという姿勢をとっていく年齢になっているんだなと思いました。その為、自分どうにかやれるような声掛けや見守りの態勢も家で少しずつやっていこうと思いました。

・子ども同士の掛け合い(おもちゃの取り合いの時)では、うまく自分で言葉の表現が出来ない場合、叩くなどの暴力になってしましますが、そのようにならないように見守ったり、必要時に間に入ったりする事が大切だなと思いました。

・子どもを育てることは、一人の人間を育てている為、緊張や不安、心配も大きく、正解もないため本当に大変です。そして、年齢ごとに関わり方法も変えていかなければ心の成長も促せず。しかし、このような保育園での様子や先生の間わり方を見させてもらう事で自分の子育ての振り返りにもなれて嬉しいです。子育ては大変な反面、楽しさも嬉しさも何十倍も味わえます。

・保育園ではとても頑張っているんだな~と改めて感じました。4月からは別の保育園になりますが、そこでもとても頑張るのだと思います。その分、家ではわがままを言ったり、チーンとなることも多いですが、受け止めて、一緒に成長していけたらいいなと思います。

・普段、自分(私)が見ている姿と園の姿は違う部分もあるんだろうな~と思いました。ブロックをつなげていくゲームでは、終わりの合図で、持っていたブロックをつなげずに置いた。というのは、私の中では発見でした。家では「終わり」と言っても、やりたい、とか途中であれば、それが終わるまでやり続けています。ゲームだからかな？とも思いましたが、スタート、ストップが出来るとは思いましたし、ちゃんとやめるんだな、という性格も分かりました。自分の見えていない部分があるのだなと分かったので、いろんな場所でいろんな角度から見えていかないといけないな~と思いました。先生のように自分とは違う関りをしてくれる人との姿を見ることが必要だなと感じました。